

千葉県による公社等外郭団体に関する情報公開

平成16年8月6日作成

団体名	株式会社 かずさアカデミアパーク	県所管課	商工労働部企業立地課
代表者	田中 俊成	電 話	043 - 223 - 2420
所在地	木更津市かずさ鎌足2 - 3 - 9		
電 話	0438 - 20 - 5111		
設立年月日	平成3年9月18日		
ホームページ アドレス	www.kap.co.jp		
事業内容	(1)かずさアカデミアホールの誘致・管理・運営業務 (2)立地施設に対する清掃・警備・緑地管理等の各種サービスの提供 (3)オークラアカデミアパークホテルの経営 (4)スポーツクラブ・アクアかずさの経営		

1 出資等の状況(H16.4.1現在)

(単位:千円,位)

資本金(又は出捐金)	9,750,000
------------	-----------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	3,500,000	35.9%	1	
木更津市	500,000	5.1%	4	
君津市	200,000	2.1%	10	
富津市	100,000	1.0%	14	
袖ヶ浦市	100,000	1.0%	14	
その他(39)	5,350,000	54.9%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H16.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体	県	
		市町村	
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	13年度	14年度	15年度
総資産	11,866,393	11,014,744	10,364,176
負債	6,485,212	6,074,536	5,934,234
資本	5,381,180	4,940,208	4,429,942
累積損益	4,368,819	4,809,791	5,320,057

(2)損益計算書

(単位:千円)

項 目	13年度	14年度	15年度
総収入 (=売上高+営業外収益+特別利益)	2,888,696	2,918,309	2,768,725
経常損益	469,192	437,172	506,466
当期損益	521,898	440,972	510,266
減価償却前当期損益	69,307	131,037	49,116

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	13年度	14年度	15年度
借入金残高	5,104,295	4,671,905	4,589,515
うち県からの借入金残高	508,000	456,800	405,600
うち県以外からの借入金残高	4,596,295	4,215,105	4,183,915
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	0	0	0

公益法人については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積損益 基本金等を除く正味財産額

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産増減計算書

総収入 (= 売上高 + 営業外収益 + 特別利益) 総収入 (= 当期収入合計 - 借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額 - (特別損益項目の資産の増減 + 特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

5 県の財政支出の状況

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	13年度	14年度	15年度
委託料	かずさアカデミアホール運営委託費他	631,087	597,007	552,063
補助金・交付金・負担金		0	0	0
その他 (利子補給・税の減免額・出資金・貸付金・その他)		0	0	0
合計		631,087	597,007	552,063

6 役職員の状況(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	13年度	14年度	15年度
常勤役員数	5	5	5
うち県退職者	1	1	0
うち県派遣職員	1	0	1
常勤職員数	106	96	89
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	9	8	5

7 事務事業の見直しの状況

「かずさアカデミアパーク」の先導的・中核的施設である「かずさアーク」の管理運営主体としての役割を果たしつつ、経営改善・財務体質の強化に努めている。

経営改善計画の推進

同社は、平成14年11月に営業強化・経費節減等の最大限の経営努力を内容とする「経営改善計画」を策定し、現在、計画目標達成に向け努力を進めている。

また、施設建設時に借り入れた長期借入金の返済に伴って生ずる資金不足問題については、同社株主である千葉県、木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市の損失補償を受け、関係金融機関が新規借入を行うとの方針が決定され、これに基づき平成16年4月に必要な資金の融資が実行された。

第3セクターとしての機動的な事業推進

県立ホール及びホテル部門の連携を強化するとともに一体的な営業に努めた結果、かずさアカデミアホールについては、開業以来7年間連続で利用件数が前年を上回っており、平成15年度においては、1,350件の会議等の誘致・運営の実績をあげた。

経営の自立推進

県派遣職員の逡減(13年度:10名 14年度:8名 15年度:6名)を進めるなど、民間企業としての自立性を高めている。

(参考) 公社等外郭団体の見直し概要(千葉県行政改革推進本部決定)

改革方針	経営改善
改革の期間	平成15年度～平成17年度
改革の概要	<p>(事業の必要性) かずさアカデミアパーク事業については、平成14年7月、国の都市再生プロジェクト「東京圏におけるゲノム科学の国際拠点形成」の中に位置付けられたほか、県の構造改革特区の拠点にもなっており、また、研究施設等の立地や産学官連携による研究開発が具体的に動き出すなど、国際的なバイオテクノロジーの拠点形成に向けて開花期を迎えている。</p> <p>同事業を軌道に乗せていくためには、県と一体となった同社による事業推進が必要であり、ホテル営業の強化や管理経費節減等の徹底した経営改善を図りつつ、立地する研究施設等に対する支援機能を強化していかなければならない。</p> <p>(見直し) 今後、効率的、機動的、自主的な事業運営を強力に推進し、かずさアカデミアパークの先導的中核施設であるかずさアーク(県立ホールやホテル等)の管理運営主体である(株)かずさアカデミアパークの機能強化及び財務体質の改善を図っていく。</p> <p>(経営改善) 経営改善計画の推進 経営改善計画の着実な推進を図るとともに、金融機関等の支援を得て長期借入金の返済を確実なものとする。</p> <p>第3セクターとしての機動的な事業推進 かずさアーク(県立ホールやホテル等)の管理運営等について、3セクの特長を生かした機動的な事業推進を図る。</p> <p>経営の自立推進 県派遣職員の逡減を進め、民間企業としての自立性を高めていく。</p>
改革の効果	<p>経営改善改革の実施による損益の改善 平成15年度～17年度約2.5億円 同社の徹底した経営改善により、大幅な増収がもたらされ、将来的な自立が図られる。</p>
改革に伴う課題	同社の経営努力によってもなお不足する部分について、県は金融機関と連携して、同社の自立に向けた資金支援を行う必要がある。
その他	